



健康平和まつりにて

## 2017年更に地域とともに、いのちの平等を広げて!!

昨年は11月に健康平和まつりを開催し、400名以上の参加を得て盛況に終わりました。職員一同、地域とともに歩むことの大切さを改めて学び取ることが出来ました。今春、いよいよ待鳳診療所跡地に訪問看護・居宅介護支援・紫竹地域包括支援センターが移転することになりました。1949年1口50円の出資金を集め創設された待鳳診療所、その長い歴史、熱い地域の方々の思いを受け継いで介護事業活動を再出発させます。建物の関係でデイサービスは現住地で運営を継続します。住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを応援できる施設をめざし、一層発展させていきます。

2018年の制度改正で医療や介護はますます切り捨てられようとしています。私たち民医連に加盟する事業所は、「いのちの平等」を基本理念に据えて、今後も皆さんと一緒に取り組みを進めていきたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。



富田アイさん

薩摩は海が近く、漁業組合にはいつも新鮮な魚があり、それを煮たり焼いたりして食べていたのを覚えています。とても美味しかった。戦時中、料理人だった祖父が買ってきた魚をお刺身にしてくれた時、大好きなお刺身を次から次へと食べていると、「10人前やぞ、そんなに食べたのか」と祖父が驚いていました。今でも一番好きな魚はブリです。



若宮喜久子さん

一番美味しいお母さんの料理はサバ寿司でした。5匹のサバから10本作り近所の人でも欲しいと言うほど美味しくて、半分をあげていました。誕生日に子供はちらし寿司、大人にはサバ寿司で、端っこの油の少ないところをもらって食べていました。今でもサバ寿司を食べるたび、やっぱりお母さんのサバ寿司が一番だと思います。



野村京子さん

私は一人っ子で育ちました。母は大変料理が上手でしたが、一番に思い出すのは、具だくさんの味噌汁。鰹節でしっかり出汁をとった味噌汁を今でも懐かしく思います。昔の人なのに、コロッケやハンバーグ、シチューもかなりの美味しさでした。コロッケはひき肉の代わりに鮭の缶詰でしたが、あっさりしてとても美味しかったです。今も私が続けていることは、祖母の時代から100年近く引き継がれた糠床です。今も糠漬けを食べながら母を思い出しています。



## 心に刻まれた思い出の味

### ～家族と囲んだ懐かしい食卓～



福土孝子さん

私の生まれ育った北海道料理で母を思い出すのは、にしんの糠漬けを使った「三平汁」、鮭を味噌で煮た「石狩鍋」、お正月に食べた塩鯨を使った「けんちん汁」です。京都に来てずいぶん経ちますがイクラも自分で漬けています。直接教えてもらったことはないけれど、口で覚えていて今でも引き継いで作っています。離れて住んでいる息子が帰ってくると「あの味が忘れられない」と言ってくれます。それもこれも母がいろいろなものを丁寧に作って食べさせてくれたからと思っています。



藤谷ミツさん

昔、朝早くに母が、丹波から二条駅までマツタケを背負って持って来られるのをたくさん買っていました。マツタケ丸ごとお釜に入れ、醤油やお酒でおつゆがなくなるまで何時間もかけて炊いていました。冷めたら壺に入れてマツタケを割いてお茶漬けをしました。とても美味しかった。毎年マツタケが出るたび懐かしく母を思い出します。



西中ます枝さん

母は苦勞をして来た人。戦時中やったから食事は大根やお芋の入ったご飯ばかりやった。子供やったからよお分からなかったけど、私が忘れもしないのは麴を木箱に入れて2階に広げておいてあった。それを降ろしてきてお鍋に入れて炊いていくとドロ～っとしてきて、それを太い棒にクルクルと巻きつけて食べるの。今の水あめやね。甘いのよ、一番覚えているの、おやつに美味しかった～。忘れないよ。あとはお砂糖をおたまみたいなのに入れてコンロで煮詰めて「かるやき」やね、美味しかったよ

# いのちと暮らしを守るために

## ～2016年原水禁世界大会に参加しました～

紫竹地域包括支援センター 渡辺 泰三

原水爆の問題は一部の人間だけの問題ではなく、全世界、全人類の問題であることを改めて認識した。2日目は被爆者の話を少人数グループで、対話形式で伺うという貴重な体験が出来た。78歳の被爆者は当時10歳、体調も優れない中、辛い体験を語って頂けた。理由を尋ねると、「被爆体験者が高齢で次々亡くなり、悲惨な状況を自分の言葉で後世に伝えなくてはという思いが強くなってきた。思い出すのは苦しいが、被害の数だけで片付けて欲しくない。」と語って頂けた。実際に話を聴くことで、数字や文字だけでは伝わらない被爆者の苦

しみ・恐怖をリアルに迫体験でき、被爆者の方の平和への強い思いが心に重く響いた。

そして、核兵器の先制不使用という当たり前のことを、核兵器の恐怖を訴えるべき日本が核で身を守ろうとする姿勢であることを知り、残念でならない。不完全でも自分自身も誰かに伝えなければいけないことだと強く感じる。どのように伝えていけるものなのかわからないが、まずは考えることを諦めないようにしたい。それが被爆者の生の証言を聴いたこと責任であり、人類が同じ過ちを繰り返さないための責任でもあると考える。



## ～いつでもどこでも、安心・安全な介護を～

四条河原町で介護ウェブ宣伝!

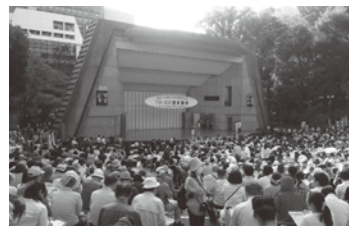
11月12日(土)、「介護のちから 知ろう!伝えよう!」のアピールのもと、葬会からも21名が参加。うち3名の職員が街頭スピーチを行い、それぞれの思いを訴えました。介護ビラの受け取りもよく、多くの方が署名をしてくださり、短時間でしたが元気に取り組みました。皆さんからいただいた「介護をよくする署名」はステーションで820筆、葬会全体で2708筆集まりました。2017年の通常国会に届けます!



## ～憲法・いのち・社会保障まもる 10.20国民集会～

社会保障の危機、憲法の危機、いのちの危機が目の前に迫るなか、10月20日に日比谷野外音楽堂で行われた「憲法・いのち・社会保障まもる10・20国民集会」に参加しました。約3300名が集まり、「患者・利用者の負担増ストップ!」や、「医療・福祉従事者の大幅増員・処遇改善を」とアピール。集会後は銀座をパレードしました。

居宅介護支援 別所正幸



## ～ひろげよう、つなげよう、共同組織の輪～

### 共同組織拡大強化月間(10月～11月)を終えて

9月21日にスタート集会在春日診療所にて開催され、参加者で月間方針を共有し、ステーション共同組織委員会にて具体的な取り組み内容を決定しすめてきました。

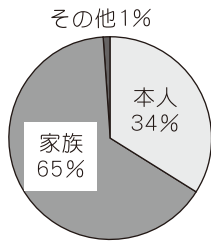
地域に出て友の会会員を増やす行動は月間中3回行い、のべ20名の職員が参加し、18名の新たな会員が

仲間入りしました。行動日以外でも声を掛けることを心がけた結果、2名の方が入会して下さり、いつでも元気はステーション職員2名が新たな購読者となりました。訪問すると歓迎して家の中まで招いて下さる方もありました。元待鳳診療所の場所がどうなるか心配する声も聞かれました。葬会への期待が大きいことを実感するとともに、真剣に取り組む姿を地域の方々は見ておられるのだということを実感しました。

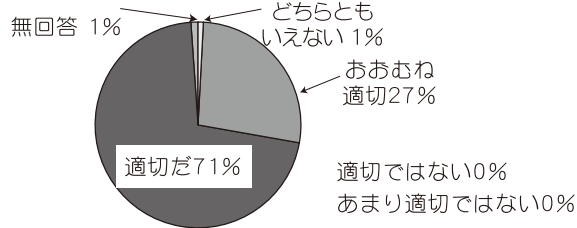
2か月の月間は終わりましたが、今後も利用者・家族・地域の方々繋がりながら事業活動や健康に住み続ける町づくりを意識していきたいと思ひます。



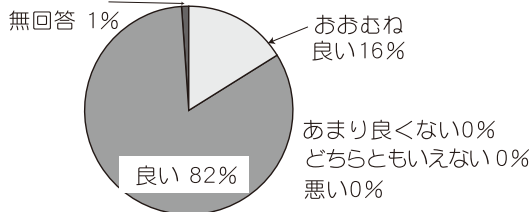
1) 記入される方はどなたですか。



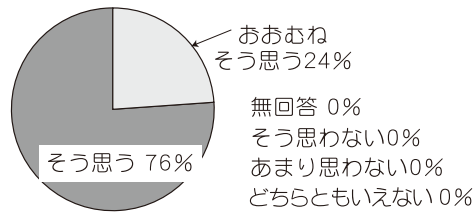
2) ケアマネージャーが訪問する時期や時間帯は適切ですか？



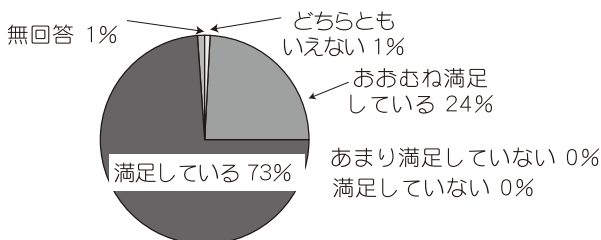
3) ケアマネージャーの言葉遣いや態度、身だしなみなどは良いですか？



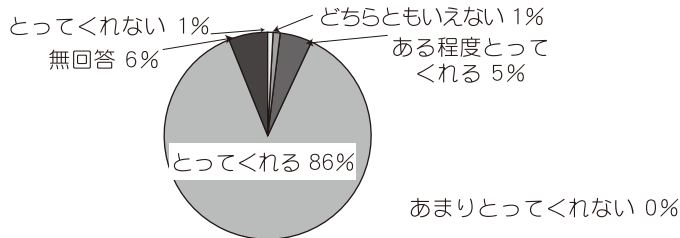
4) 本人(家族)の話をよく聞いて、十分な説明や相談にのってくれますか？



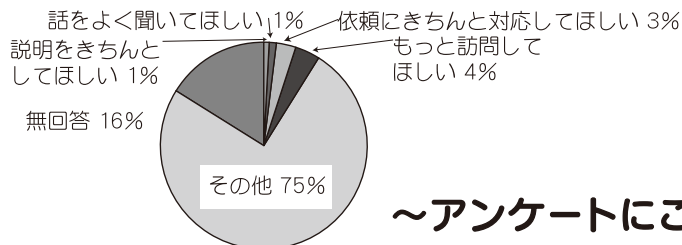
5) 今のケアプランに満足していますか？



6) サービス事業所や医療機関などへの連絡を適宜とってくれますか？



7) 担当のケアマネージャーに要望することは何ですか？



～アンケートにご協力いただきありがとうございました～

利用者・家族の声を支援につなげ、質の向上を目指していきます。

私たちケアマネジャーは毎月利用者様の自宅を訪問し、介護サービスの利用状況をはじめ、病状や生活上で困っておられることはないか等を把握するよう努めています。その際、あらかじめ電話で訪問の相談をしていますが、「5日前には連絡してほしい」「時間を間違えないで欲しい」という意見が寄せられました。また「電話の声が小さく聞き取りにくい」「電話対応が感じ悪いことがあった」などの意見もありました。改めて接遇の改善や事前の訪問約束等改善していきたいと思います。また「介護に関する専門的な質問には真剣に答えてもらい、いつも安心できる」「家族以上に辛いこと、恥ずかしいことを言いやすいのが安心」「本人の思いと家族の思いがぶつかったりすると間に入ってベストな案を出してくれる」などの意見も頂きました。大変ありがたい言葉だと思います。1年に1度のこの機会、皆様の声をしっかりと受け止めて、7名のケアマネジャーで更に支援の幅を広げていけるように努めて行きたいと思います。

居宅介護支援事業所管理者 国井牧子

ご意見・ご要望がありましたらデイサービスまで声をおかけください。

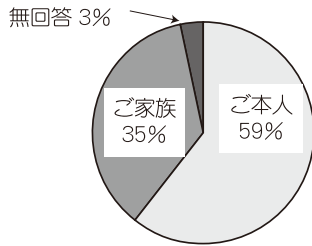
今回、「送迎」と「入浴」の評価で「できている」が前年度より減り、「ほぼできている」が増える結果となりました。『ドライブを味わっている』『安心して乗車している』といった声もいただいています。が、デイサービスの行き帰りの時間も、皆さんが安心してながらおしゃべりに花が咲かせられるよう、より安全に心がけて送迎につきたいと思います。

入浴はデイサービスの楽しみの1つです。デイサービスでは“みかんの皮”や“よもぎ”など天然素材を浮かべた薬浴で、肌にやさしく目にも楽しいお風呂をあげわってもらっています。また、こんなお風呂に入りたい、といった皆さんのアイデアも取り入れたいと考えています。

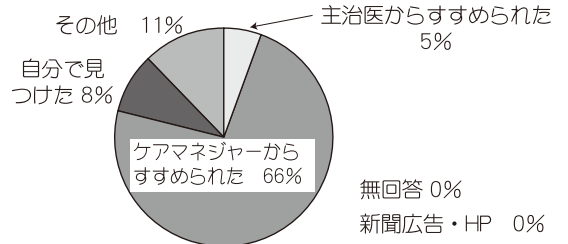
昨年度から開始しました個別機能訓練も好評です。『足が悪いので体を動かせることをしてもらえるのは嬉しい』『こけんようになった』といった話しをお聞きます。デイサービスは皆さんにとって生活の一場面ではしかありません。でもその一場面が皆さんにとって輝ける場面になればと感じています。そのためにも利用者・家族のみなさんからもっと意見がもらえたらと思います。

葵会デイサービス管理者 河合隆志

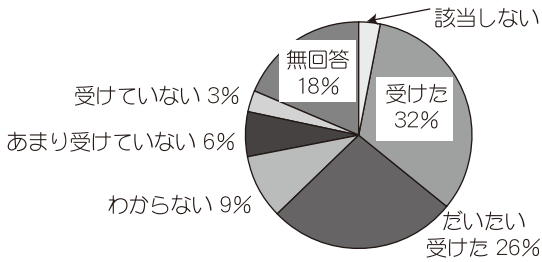
1) 記入される方はどなたですか？



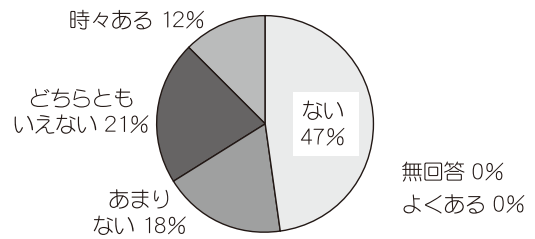
2) あなたが、このサービス提供事業所を選んだ理由は何ですか？



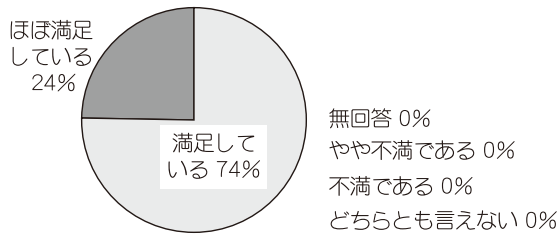
3) 契約締結又は利用開始にあたって、デイサービスについての十分な説明を受けられましたか？



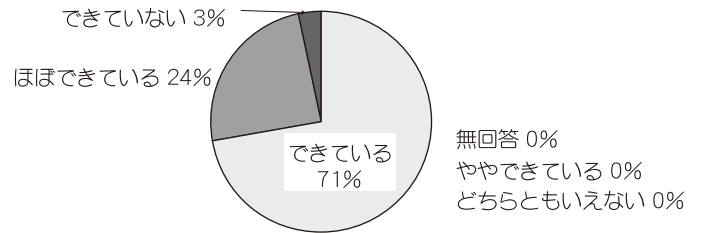
4) あなたは御利用中に孤独感を感じられた事がありますか？



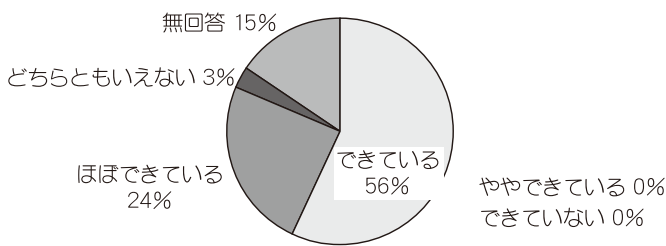
5) 職員の態度や身だしなみ、言葉使いはいかがですか？



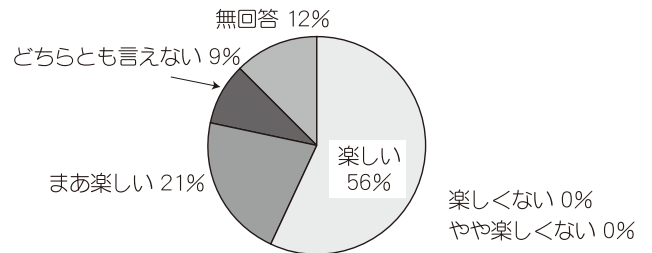
6) 送迎時の運転は、安心して快適に乗車出来ていますか？



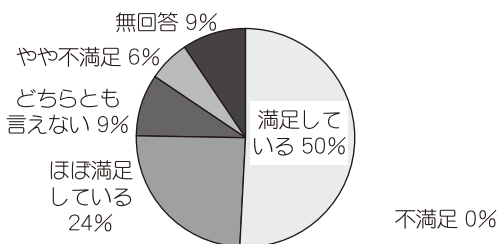
7) 入浴は気持ち良く快適に出来ていますか？



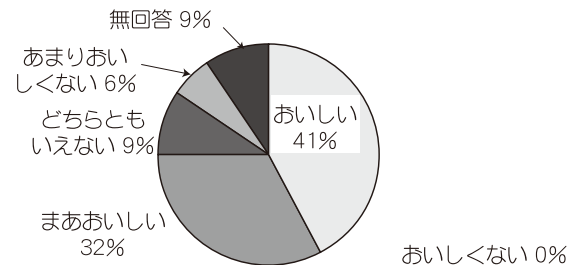
8) レクリエーションは楽しいですか？



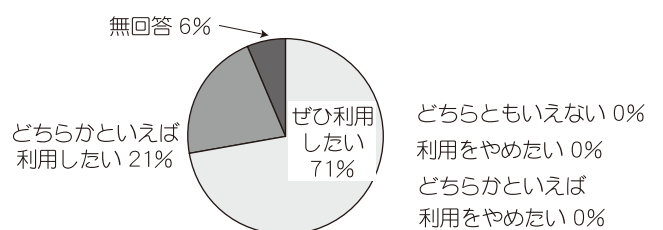
9) デイで実施している体操の内容に満足していますか？



10) お食事はおいしいですか？



11) 今後もデイサービスをこの事業所で引き続き利用したいと思いますか？



# 花粉の季節、しっかり対策!

冬も終わりに近づき、あたたかい春がやってくる! …とうれしいと同時にやってきます。花粉の季節! 止まらないくしゃみ、鼻水、目のかゆみとつらい症状に悩まされる方も多いのではないのでしょうか。そこで、本格的な花粉シーズンに向けて、自分でできる基本対策をご紹介します。

## 外出時の対策

テレビや新聞など花粉飛散情報をチェックし毎日の行動の参考にする

## 家の中での対策

- ・帰宅したら花粉をよくはらい落とす
- ・洗顔、うがいをする
- ・入ってしまった花粉はこまめに掃除をして除去する
- ・窓や戸をしっかり閉め、花粉の侵入を防ぐ

## 花粉情報の要注意日

1. 天気が晴れまたは曇り
2. 最高気温が高い
3. 湿度が低い
4. やや強い南風が吹き、その後北風に変化したとき
5. 前日が雨



・1日のうち飛散の多い時間帯(午後1時から3時)の外出を避ける。

・帽子、マスク、眼鏡を着用し、上着は表面がすべすべした素材のものにする。

花粉症の治療は、症状が出る前や発症早期からの治療が有効と言われています。まずは、かかりつけの医療機関に相談してみましょう。花粉症の症状を軽くするためには、治療とともに花粉が体に入らないようにする注意や工夫が大切です。積極的に花粉対策に取り組み、つらいシーズンを乗りきりましょう。

## 職員あいさつ

### よろしくお願いします



居宅  
大倉宗一郎

今までの経験を活かして利用者様の生活を支援して行けるケアマネージメントができればと思っています。



葵会デイサービス  
木邨美佐穂

「何事も前向きに楽しむ」をモットーに頑張っていきます。よろしくお願いします。



葵会デイサービス  
門野ひろみ

紫竹地域包括支援センターから葵会デイに異動で参りました。笑顔で頑張っていきますのでよろしくお願いします。



葵会デイサービス  
長岡偉夫

初めての方は初めまして、ご存知の方はご無沙汰しております。土曜日限定で久しぶりにお手伝いさせていただきます。宜しくお願い致します。

### ありがとうございました



訪問看護  
久保志穂

9月から施設での勤務ですが、訪問看護で関わった利用者様の在宅とはまた違う顔をみることができ、楽しく働かせていただいております。笑顔を忘れず頑張りたいと思います。



居宅  
小林史絵

今はおおみや老人保健施設おおみや葵の郷で看護師をしております。まだまだ寒い時期ですので体調など崩されないようにお気をつけください。



葵会デイサービス  
本宮真紀子

11月末で退職することになりました。皆さんと日々過ごさせて頂くなかで、思いやる気持ちや楽しむ心などができました。人生1度きり、しかめっ面より笑顔で生きていこう!と思う今日この頃です。皆さん今までありがとうございました。



葵会デイサービス  
松本健一

デイサービスでは、約7年間お世話になり、今まで利用者様から沢山、笑顔と元気を頂戴しました。次の職場でも、自分らしさを発揮し利用者様に還元出来れば嬉しいと思っています。今までありがとうございました。

# 在宅家族の会と友の会の合同企画

## 紅葉狩り

### あたたかな晴天日和に恵まれて

春の花見に続き、秋は紅葉狩りを計画しました。ぐずついたり寒かったりの日が続いていましたが、11月5日は見事な晴天でした。当日の植物園は「菊花展」が開催され、コスモスも満開、来園者もいっぱいでした。南門前では「葵会総合ケアST紅葉狩り」の手作り旗を持って参加者をお迎えしました。

職員も家族連れで参加し、総勢36名がバラ園周辺のテーブルと椅子に集合しました。



### 美味しいお弁当に舌鼓

少し遅れて到着した豪華弁当(和菓子付き)に皆さん満足顔。テーブルではそれぞれに話が進みます。「ここは戦後進駐軍の住宅で、プール付の豪華な家を賀茂川の向こう側から見てたんよ。若い人は知らないでしょ」の話にスタッフも「知らなかった!」と。食後は恒例の職員によるマジックショー。予想外にギャラリーが集まり、大いに盛り上がりました。その後は皆で歌を楽しみ、午後2時に解散。綺麗な花と穏やかな天気の後押しされ、解散後も菊花展へ足を伸ばした方も。お天気の神様ありがとうございます。

### 次回は4月のお花見に!!

2017年の春にお会いできることを職員一同楽しみにしています。

## ～「苦勞しているのは自分だけじゃない」を実感～

### 介護を語り合うつどい

日々の介護の中で悩みを抱えている方々に、いろんな介護の経験を聞いて交流する機会を作りました。職員合わせて29名が参加。「孤独感が強かったが、こういう場があれば少し救われる」「介護で苦勞しているのは自分だけではないと思うことが出来てよかった」等、またこんな機会を作ってほしいという感想が大半でした。

今後も定期的に行なうことで、支え合うネットワークを作っていければと思っています。

訪問看護 野崎文美子



介護体験を語る橋本さん、新井さんの話を聞く家族の方々とスタッフ。みんな真剣です。



体験を語る橋本さん



体験を語る新井さん

# 葵会デイサービス

## 秋のドライブ 2016

葵会デイサービスでは、2016年11月中旬から12月上旬にかけて、毎年恒例の紅葉ドライブを開催いたしました。11月の寒さはありませんでしたが、期間中は雨が降ることもなく、良いコンディションで参加していただきました。その一部ではございますがご覧ください



2016年のコースは、賀茂川を北上し、市原から貴船へ。岩倉に抜け、妙満寺で停車し記念撮影をしました。ブラブラ街並みも楽しんでもらいながら、デイサービスへ帰ってきました。ドライブ中はお話を楽しまれたり、ジッと

紅葉を鑑賞される方がおられたりと、利用者さんそれぞれの楽しみ方で参加されていました。デイサービスに戻れば皆さん笑顔☆落ち葉を片手に、ドライブの話に花を咲かせておられました。

## 2017年の 干支「酉」の 壁飾り

2017年の干支は「酉」。デイサービスでも新しい干支壁飾りにチャレンジしました。布地に型取りを行い、切り取っていきます。その切り取った布地の中に、綿を入れていくという根気のいる作業ですが、皆さんコツコツと取り組んで下さいました！取り組む中で、「これ、何になるんや？」と心配そうにされる方もおられましたが、出来上がってくる作品を見て、「いいやん！」と目を輝かせて下さいました。素敵な「酉」の壁紙が見事に完成！ぜひ、ご覧ください。



京都介護サービス  
第三者評価を受診しました！！



介護サービスの質と透明性の向上を目的とする「京都介護サービス第三者評価」を2016年11月15日に受診しました。今後も、ケアの質の向上を目指し、利用者の皆さんから評価し続けていただけるデイサービスを作って行きたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

葵会デイサービス職員一同

※結果はホームページに掲載してお知らせします。